



「世界遺産白川郷」 撮影 | 経済学部3年 志津福音

## サマースクール2019inひだ特集！

### 8月前半は高山市と飛騨市で開催

2019年8月26～28日は、高山市と飛騨市でサマースクールが開催されました。前半の2コースには、日本福祉大生が7名参加。他大学の学生たちと2泊3日で地域の課題を解決する提案を考え発表しました。高山市では、「自然観光資源を活用して、若者観光客を集める」方法を考えました。今回は、古い町並みだけではなく、郊外の自然観光スポット、飛騨大鍾乳洞や星空観測、新穂高ロープウェイでの山岳観光を自分たちで体験。市役所や地元企業の方から地元や観光の現状を伺い、学生同士で課題解決の提案を考えました。最終発表は、アクティビティーの企画や、ツリーハウスの建築など、多様な提案がされました。



飛騨市コースは、「薬草の有効活用と市民団体の交流を考える」がテーマ。全国薬草シンポジウムに出展するブースを学生たちが考えます。薬



草カレーのランチや野草茶など、実際に薬草を味わいながら、地域で薬草活用を進めているNPOの方達と交流し情報収集。最終の発表では、離乳食に薬草を取り入れる、インテリアに取り入れ親しみを持ってもらう、野草茶ウォーキングラリーなどの企画が提案され、審査員の方々からは、これまでにない視点での提案が多くあり、非常に充実していたと感想をいただきました。

### 後半戦は下呂市と白川村

9月3～5日は、下呂市と白川村での開催です。下呂市コースには5名、白川村コースは1名の日本福祉大生が参加しました。下呂市のテーマは、「農村滞在体験から、住み継がれる地域を考える」。学生たちが実際にこの地域の暮らしを体験しつつ、実際に移住された方や地場産業をされている方との出会いを通じて、この地域に人を呼び込み、暮らし続けるための仕組みを考えます。下呂市の地場産業や、移住して新規就農を始められた方に話を伺い情報を収集。夜はゲストハウスに泊まり、地元で暮らし続ける地域の方と交流し学びを深めました。発表では、田舎ホームステイや自然体験ツアー、アプリを利用した地域とのつながりなど様々な視点から提案がありました。白川村コースは、「観光客のニーズを見つけ、持続可能な観光資源を提案」をテーマに学生たちが取り組み



ました。世界遺産である白川郷合掌造り集落を、観光客目線と住民目線で見学。また、白山国立公園に指定されている大白川地区にも足を運び、白川村の観光資源を体感していきます。最終の発表では、その土地の歴史や自然環境を活かした提案がありました。地域の方や他大学の学生と、真剣に地に向き合うサマースクール。学生たちに、貴重な経験になったのではないのでしょうか。



## 日本福祉大生13名が参加！

2019年のサマースクールは、本学から、4学部、1年生から3年生まで、計13名の学生が参加。大学、学部、学年を超えて、他大学の学生とともに地域課題に取り組みました。飛騨市コースと下呂市コースでは、本学の学生が所属するチームが最優秀発表に選ばれました。それぞれの成長を手に入れた学生たちの学びをご覧ください。

### -----高山市コース-----



#### 「自分の弱みを克服」

グループワークで自分から意見をいうことや、質問に答えることで、自分から積極的にコミュニケーションが取れるようになりました。

[経済学部3年 桐山周眞]

#### 「地域交流を通じて魅力を発見」

自分たちで地域の魅力を考えることで、以前より、高山市の事が好きになりました。他大学の学生との交流も良い経験になりました。

[経済学部2年 土方溪]

#### 「もっと自分から意見を出したい」

課題を解決していく時に、どのように考えていったらいいか、そのきっかけを得ることができました。高山市の良い所もよくわかりました。

[社会福祉学部2年 藤嶋悠翔]

#### 「貴重な経験がたくさん積める」

テーマを意識していたことで、普段見ないような視点で観光地をまわることができ、他の大学の学生と関わることもできとても楽しかったです。

[健康科学部2年 深津乃衣]

### -----飛騨市コース-----



#### 「地域の理解が進んだ」

テーマを実際にグループ考えてみるとなかなかまとまらず難しかったですが、考えていく力は身につきました。飛騨市の事も、たくさん知ることができました。

[経済学部2年 伊藤秀一]

#### 「新しい気付きと課題を発見」

人前で話すことが苦手でしたが、グループワークを通して、克服することができました。次は、もっと自分の考えを伝えられるようになることが課題です。

[経済学部2年 山川翔大]

#### 「協働することで生み出すことを体験」

他大学の学生と関わることで、自分だけでは考えつかない案が多く出ることが体験できました。今後は、もっと自分から意見を出していける事を目指します。

[国際福祉開発学部2年 竹内健人]

### -----白川村コース-----



#### 「やってみればできる」

環境や意見が違う他大学生との交流は学ぶことが多く、人と関わることの大切さがわかりました。また、自分もそういう場でやっていける自信が持てました。

[経済学部3年 志津福音]

### -----下呂市コース-----



#### 「地域の人々の親切さに触れた」

地方での就職の可能性がわかり、地域を発展させていくことに興味を持ちました。このような機会に、今後も積極的に参加していきたいです。

[国際福祉開発学部2年 岩崎右城]

#### 「今まで体験できなかった新しい体験」

普段はあまり関心を持っていなかったことについて考えることで、色々なことを考える力が身につきました。もっと下呂市について知りたいです。

[健康科学部2年 生川竜也]

#### 「自分の変化を実感」

自分から意見を発信することが苦手でしたが、今回の経験で、少しは自分から話せるようになったと感じています。グループで楽しく活動出来たおかげです。

[健康科学部2年 藤原佑衣]

#### 「人と関わることの大切さ」

自分たちの考えを共有して、みんなで目指すゴールに、近づいていくことができることのおもしろさに気づきました。初めての体験でしたが、力になりました。

[経済学部1年 加納拓磨]

#### 「まだまだ発想を広げられる」

地域の魅力を発掘して、地域活性のための計画を立てるのは、想像以上に学べるがありました。とても充実した2泊3日でした。

[社会福祉学部1年 川瀬聖登]

参加した学生の皆さん、お疲れ様でした。この学びを今後の学生生活に活かしていく姿を楽しみにしています。